学校番号	４１５

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」　（教育芸術社）						
副教材	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「歌う」「楽器を演奏する」「音楽を聴く」の３つの分野を年間通して学習します。
学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
音楽の学習は、実際に声を出したり、楽器を演奏したりして試してみてこそ価値あるものとなり、感性が豊かになります。
音楽が、生涯を通じて、みなさんの心の支えとなり、生きてゆく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするための技術を身に着けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】　自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって、それを演奏に反映させることができる。
【学びに向かう力・人間性等】　主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組むことにより、音楽文化に親しみ感性を高め、生涯に渡り音楽を愛好する心情を育む。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	ａ：知識・技能	ｂ：思考・判断・表現	ｃ：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付けている。楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するかについて表現意図をもっている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽　鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４．学習の活動

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	邦楽に親しもう	「器楽」 箏 さくら	a：箏の音色や奏法の特徴を生かした技能を身につけ、創造的に表している。 b：音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 C:日本の伝統音楽や音楽文化に関心をもち、箏の学習に主体的に取り組もうとする。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験
1学期	ミュージカルを楽しもう	「鑑賞」 ミュージカル ・ハイスクールミュージカル	a：歌、せりふ、ダンスなどの様々な表現要素の中でもとりわけ音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。 c:様々な表現要素を詰め込んだエンターテインメントの一つとして世界中で愛されているミュージカルを、主体的に関心をもって楽しんでいる。	観察 ワークシート		観察 ワークシート
1学期	出会いの歌	「歌唱」 校歌 翼をください ハナミズキ 島唄	a：表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。 b：音楽を形づくっている要素を知覚しそれらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験

2学期	外国語の歌を歌おう	「歌唱」 ・ホールニュー・ワールド ・O‘SOLE　MIO ・子守歌	a：楽譜から曲想を正確に読み取り、表現に結びつけて歌おうとしている。 b：背景となる恋愛観を含め、詩の意味を理解し、感情をこめて歌おうとしている。 a:英語やイタリア語ドイツ語などの原語の歌詞の意味と詩の構成から楽曲の世界観を理解し、楽曲にふさわしい発声と発音に興味を持って取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験
2学期	有名な管弦楽曲を鑑賞しよう	「鑑賞」 美しく青きドナウ 魔法使いの弟子 フィンランディア	a：管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 c：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め良さや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 実技試験		観察 ワークシート 実技試験
2学期	ギターの入門簡単なメロディを弾こう	「器楽」 日曜日よりの使者 カントリーロード	a：ギターの基礎的な演奏技能を身につけ、演奏している。 b：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、ギターでどのように演奏するかについて表現を工夫している c：ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験

2 学 期	協奏曲を聴こう	「鑑賞」 バッハ ２つのバイオリンのための協奏曲 モーツアルト フルートとハープのための協奏曲 チャイコフスキー ピアノ協奏曲 モーツァルト オーボエ協奏曲 モーツアルト ホルン協奏曲	a: 独奏楽器とオーケストラが対比的に演奏される形式を充分に味わい、演奏を解釈したりそれらの価値を考えたりして、協奏曲に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。 b：協奏曲の特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート		観察 ワークシート
3 学 期	アンサンブルを楽しもう	「器楽」 グループアンサンブル 「少年時代」	a: 複数人で合わせるために必要な楽器の基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。 b：音色やリズムハーモニーなど音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように音楽を作っていくのか表現意図をもっている。 c：器楽アンサンブルに関心をもち、合わせる楽しさを感じながら主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験	観察 ワークシート 実技試験

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b: 思考・判断・表現
c:主体的に学習に取り組む態度

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野はａ，ｂ，ｃの３観点で、「鑑賞」の分野はａ，ｃの２観点で評価をする。

※　年間を通じて全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について記している。